

「移民編、
 発行遅れます」

『西原町史』第六巻・資料編五 西原の移民記録の発刊が遅れています。町民をはじめ、在外西原町人会組織の方々には大変申し訳なく思っております。七月には発刊する予定ですが、心待ちにしている皆さん、もう少しだけ待って下さい。移民編の特徴は、西原町独自で集めた資料や写真を駆使していることです。移民の概要は琉大の石川友紀教授が執筆担当し、移民体験談、在外西原町人会組織各字概況等は町史編集事務局で担当執筆しました。

外務省外交史料館で収集した資料や、ブラジル、アルゼンチン、ペルー、ハワイ、ロスアンゼルスで現地調査した時に収集した写真



現地調査のようす

やパスポート、移民契約書等、その数は相当なものになりました。

これらを一卷としてまとめるには、あまりにも資料が膨大のため、資料の取捨選択に苦労しました。この膨大な資料から厳選したものを、本編と附録の二冊にして出すことにしました。本編には移民の概要や体験談、在外西原町人会組織関係、附録には旅券下付表や関係法令集、年表などが入っています。

移住者の、異国の地で生きぬいていくための苦労話、文化や言葉の違いによる失敗談や笑い話、そして沖縄県人、西原出身者が苦楽を共にし、結束してお互いに支えあっていった話など、沖縄では体験することのできない貴重な体験談は必読です。

今年の十一月には「第三回世界のウチナンチュ大会」が開催されます。みなさんの家族や親戚の方も沖縄を訪れるのではないでしょう。その時には、家族の近況や現地でのいろいろな話、現在の沖縄のこと、西原町のこと等、話は尽きないことと思います。もしかしたら、町史に載っている体験談とはまた違った体験談を聞けるかもしれませんね。